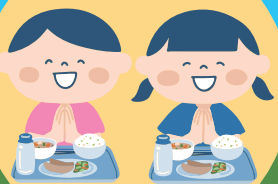


2025

みんなが安心して 過ごせる学校に!

教育全国署名にご協力ください



2024年度の

各地から届いた成果

- 給食無償化の前進!
- ランドセル・修学旅行費・卒業アルバム・通学費などの無償化!
- 私学助成の増額! ●特別支援学校の新設!
- 体育館などにエアコン設置!

＼昨年度は約275万筆! 35年間で約4億8300万筆!／

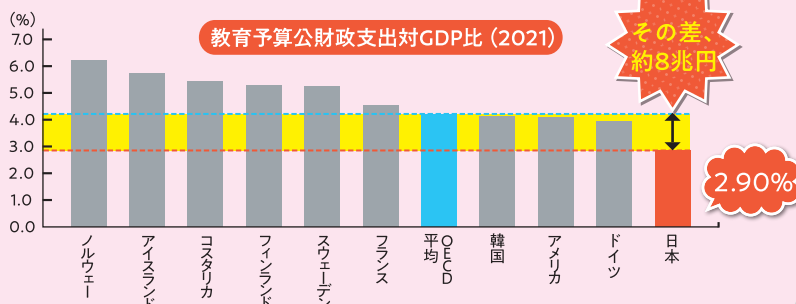
担任の先生がない!?

文科省が2022年に発表した「教師不足」調査では、全国の小・中学校、高校、特別支援学校で教員の未配置が起きていることが明らかになりました。「うちのクラスに先生いつ来るんやろ?」と寂しそうに教頭に話す小学生、休んだ先生を心配しすぎて自分がやるべきことに手を付けられない高校生など、安心した学校生活には先生が必要です。



教育予算の増額を!

OECD平均4.15%まで教育予算を増やすと幼稚園から大学まで教育無償化(約4兆円)、30人学級・教職員定数改善・給付奨学金拡充(約2兆円)が実現可能です。



(※OECD2024インディケーター Table C2.3. Total expenditure on educational institutions as a percentage of GDP, by source of funds(2021)より)

ゆきとどいた教育をすすめる会

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1全国教育文化会館3階
TEL: 03-5211-0123 FAX: 03-5211-0124

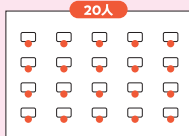
全教／全国私教連／教組共闘連絡会／全国私学父母懇・私学助成をすすめる会連絡会／全国各地のすすめる会

国の責任で教育条件の整備を！

すすめよう！少人数学級

小学校全学年の35人学級が実現しました。中学校は35人学級に向けて議論が進められていますが、高校は40人学級のまま。独自の少人数学級は自治体任せなので格差が生まれます。そもそもOECD諸国の平均は1学級20人程度です。国の責任による20人学級を展望して、小・中・高と、さらなる少人数学級を実現しましょう！

#めざせ20人学級



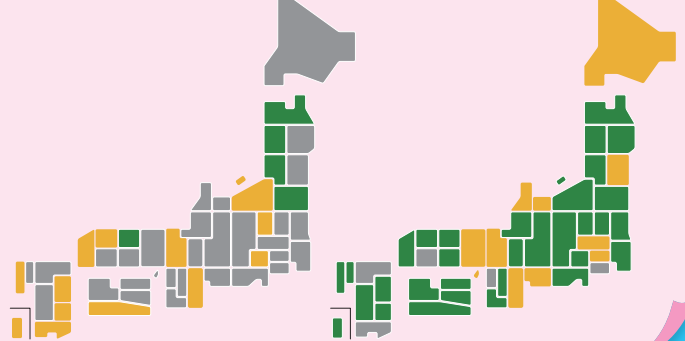
少人数学級なら、
子どもたちも
授業がわかりやすい！
すごしやすい！

少人数学級実施状況（小学校）

すべての学年で国の基準を上回る
少人数学級を実施または実施可能
いずれかの学年で国の基準を上回る
少人数学級を実施または実施可能

少人数学級実施状況（中学校）

すべての学年で国の基準を上回る
少人数学級を実施または実施可能
いずれかの学年で国の基準を上回る
少人数学級を実施または実施可能



お金の心配なく豊かに学ばせたい、学びたい

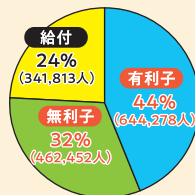
幼稚園入園から大学卒業までの19年間、全て国公立で進んでも学費として820万円がかかります。小中学校を公立で過ごし、他を私学で過ごせば1250万円、全て私学なら文系でも2310万円もの金額です。

大学・短大・専門学校など学生全体の約半数にあたる148万人が日本学生支援機構の奨学金を利用しました。しかし大半が「貸与制」で、卒業後に返済しなければならない「借金」となっています。

高校就学支援金制度ができて16年目になりますが、2024年度に経済的理由で私立高校を中退した生徒数は28人、6か月以上の滞納は331人で前年度の1.25倍以上にもなりました（全国私教連調べ）。日本が中等教育及び高等教育の無償化を国際的に約束してから13年。国は早く責任を果たすべきです。

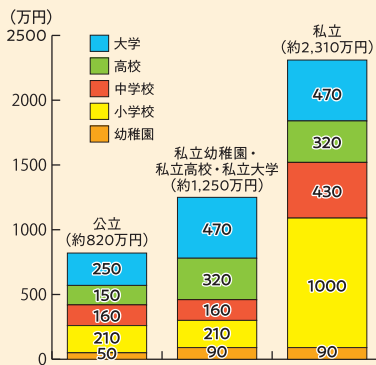
公立も私学も無償に。そのためには、学費の無償化、給付奨学金の大幅な拡充、私学助成のさらなる拡充などが必要です。

2023年度 奨学金受給状況（学生支援機構）



出典：日本学生支援機構
「奨学金に関する情報提供 - JASSO」より

大学卒業までにかかる教育費



出典：文部科学省「子供の学習費調査」（令和3年度）、
日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査」（2021年度）

特別支援学校の 過大・過密の解消を

全国で1000校ほどの特別支援学校で、3359もの教室が足りていません。そのため、パーティションで教室を区切る、玄関を教室にするなど、一時的な対応を強いられているケースが7476もあります。学校の新設や、既存校への設置基準適用、そのための予算措置が急務です。

学校や教職員をふやして よりよい教育環境を

現状の特別支援学校は教室不足が深刻…



子どもたちに寄り添うためにも、せんせいふやそう

小・中学校、高校での登校拒否・不登校が40万人を超えました。少人数学級であれば不登校児童生徒の割合が減る調査結果も出ています。子どもたちへのきめ細やかなかわりのためにも、少人数学級の実現や、教職員未配置の解消が必要です。

